

いそがばまわれ

「おうみ狂言図鑑2021」を
草津アミカホールで開催！

問 草津アートセンター
(野路六、草津クレアホール内)
☎561-6100、FAX564-5851
生涯学習課(6階)
☎561-2428、FAX561-2488

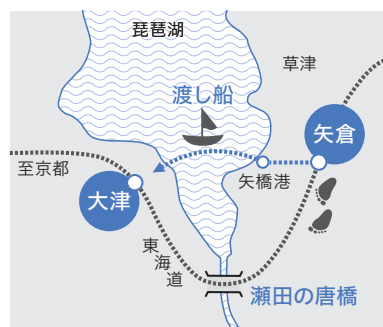


このことわざの語源が、草津であることをご存じですか？

「武士の やばせの舟は早くとも 急がばまわれ瀬田の長橋」という室町時代の和歌によるものとされ、現在の矢橋(草津市)の渡し船で琵琶湖を渡ると近道ですが、強風で難破することもあるので、危険な水路より、遠くても陸路で現在の瀬田唐橋(大津市)を通った方が着実であり、結果的には目的地に早く到着することを例えたものです。

滋賀県に縁のある大蔵流狂言の茂山家は、滋賀を題材にした新作狂言を「おうみ狂言図鑑」として、狂言の「笑い」と「近江」の魅力を発信しています。

今年度は『いそがばまわれ』を題材にした新作が登場！草津アミカホール(草津三)の他、わたむきホール虹(日野町)、てんびんの里文化学習センター(東近江市)でも開催しますので、ぜひ、お楽しみください。



あらすじ

いそがばまわれ (新作)

作・演出 茂山逸平

主人が太郎冠者を連れて物見遊山に出かけますが、名所を巡りたい主人と名産を味わいたい太郎冠者の意見に折り合いがつかず、一計を案じた太郎冠者は、近江八景を勝手次第に作り変え、主人を案内して何とか名産に有り付こうとするのですが…。



◎ 来年2月13日(土) 14:00～(13:00開場) 所 草津アミカホール
対 未就学児入場不可 定 150人(先着順)
¥ 一般2,000円 25歳未満1,000円
用 草津アミカホール、草津アートセンター、ローソンチケット(Lコード:53880)などで。詳しくはお問い合わせください

附子(古典)

見るなど言われたら見たくなるのが人情

太郎冠者・次郎冠者に留守番を言いつけた主人。桶の中身は附子という猛毒なので絶対に近づかないように、と言って出かけます。二人がこわごわ桶の中を覗き込むと、中身はおいしいそうな砂糖。結局すべて平らげてしまい、言い訳のためにと主人秘蔵の掛け軸や天目茶碗を壊して、大声で泣きながら主人を待ちます。帰宅後、激怒する主人に二人は…。



※この他、古典作品「濯ぎ川」を上演します。

プレゼント！

1 草津アミカホールでの鑑賞でプレゼント！

2月13日(土)か14日(日)に、草津宿街道交流館(草津三)・史跡草津宿本陣(草津一)に鑑賞チケットを持参し、入場券をお買い上げの人に、粗品プレゼント！

2 2カ所以上の鑑賞でプレゼント！

2カ所 太郎冠者ストラップ
3カ所 金法師のよだれかけ(手ぬぐい)、次年度「おうみ狂言図鑑」招待券1枚

洋画

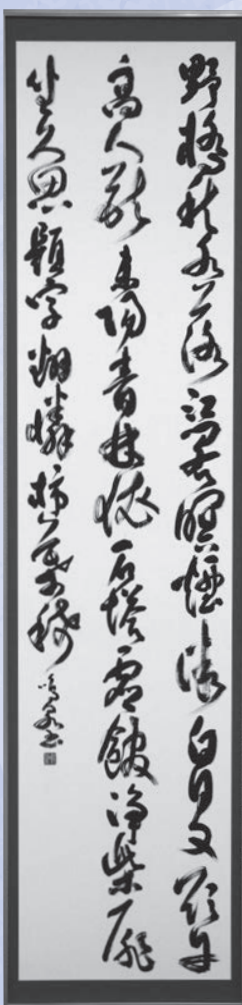
こもれび
大西隆夫さん



工芸

書

りゅうすう し
劉松詩
倉崎富司(鳴泉)さん



日本画

まなざし
扇里砂子さん



儚さと華やかさと
田村昌也さん

写真



彫刻

海辺の華
高野裕子さん



市美術展覧会

10月31日(土)～11月7日(土)に、市美術展覧会を開催し、271点を展示しました。各部門で市展覧に輝いた作品を紹介いたします。

問 生涯学習課(6階) ☎561-2428、FAX561-2488